

イスラエル

State of Israel

		2012年	2013年	2014年
①人口：830万人（2014年末）	④実質GDP成長率（%）	3.0	3.2	2.8
②面積：2万2,072km ²	⑤消費者物価上昇率（%）	1.6	1.8	△0.2
③1人当たりGDP：3万6,991米ドル （2014年）	⑥失業率（%）	6.9	6.2	5.9
	⑦貿易収支（100万米ドル）	3,274	5,232	4,997
	⑧経常収支（100万米ドル）	4,534	8,065	13,027
	⑨外貨準備高（100万米ドル）	75,908	81,786	86,101
	⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	97,463	95,366	97,563
	⑪為替レート（1米ドルにつき、 シェケル、期中平均）	3.9	3.6	3.6

〔注〕②：ヨルダン川西岸・ガザ地区を除き、ゴラン高原、東エルサレムを含む。⑦：国際収支ベース（財・サービス）
〔出所〕①②④～⑧：イスラエル中央統計局（CBS）、③⑨：IMF、⑩⑪：イスラエル中央銀行

■ 交戦の経済影響は限定的で2.8%成長

国民所得統計によると2014年のイスラエルの実質GDP成長率は2.8%と前年の3.2%から鈍化した。需要項目別にみると、経済を牽引したのは6割弱を占める民間最終消費支出（前年比4.1%増）および2割強を占める政府最終消費支出（4.2%増）で、いずれも前年よりも増勢を強めている。一方、2割弱を占める国内総固定資本形成は前年の1.1%増から2.8%減へと反転し、成長の足を引っ張った。これは主として非住宅建設投資の不振による。

なお、3割を占める財貨・サービスの輸出は、前年の1.5%増から1.1%増へと伸び率が鈍化した。これは主要輸出先であるユーロ圏の経済停滞が一因である。

生産面からみると、建設業が前年比5.0%減となった以外は、全ての部門で成長しており、特に2割強を占める金融・保険・不動産・専門サービス部門（6.4%増）、1割を占める情報・通信部門（9.5%増）が経済を牽引した。なお、7月から9月の観光シーズンに発生したパレスチナとの交戦は、観光業に影響を与え第3四半期の輸送・倉庫業、商業・飲食・宿泊業の成長率が前年同期比でマイナスになったが、通年ではそれぞれ2.2%増、1.9%増と成長しており、影響は限定的であった。

消費者物価指数（CPI）上昇率は、マイナス0.2%であった。これは輸入品価格および石油価格が低下したこと、3割弱のウエートを持つ住宅の価格が低下したことなどを反映したものである。

■ 目立つ中国からの投資案件

イスラエル中銀の通関統計によると、2014年は輸出が前年比3.3%増の689億6,800万ドル、輸入が0.5%増の723億4,100万ドル、貿易赤字は前年の52億1,200万ドルから33億7,300万ドルに縮小した。品目別にみると、輸出を牽引したのはダイヤモンド（研磨済み）（前年比8.8%増）および機械機器・金属加工基礎製品（14.8%増）であった。一方、輸入は消費財（9.0%増）が好調であったが、燃料（12.3%減）の減少を主因として原材料が1.8%減となり、増加分を相殺した。地域別にみると、輸出入ともに最大の相手先であるEUが、経済不振を反映して2013年よりシェアを縮小している（輸出：27.4%→27.2%、輸入：33.9%→33.4%）。代わってNAFTA（輸出：27.7%→28.4%、輸入：12.1%→12.6%）、アジア・大洋州（輸出：26.0%→26.2%、輸入：21.2%→22.9%）が拡大している。国別では、輸出では米国向け（前年比6.1%増）、輸入では中国（11.0%増）の増加額が大きかった。

2014年の直接投資の動向をイスラエルの国際収支統計（ネット、フロー）でみると、対内直接投資は64億3,200万ドルと前年の118億400万ドルから大幅に減少した。また、対外直接投資も、39億7,500万ドルと前年の46億7,000万ドルから縮小した。いずれも、新規投資が減少していること、および既存投資の撤退が理由である。しかし、これはイスラエルの直接投資が低調であることを必ずしも意味しない。イスラエルの

表1 イスラエルの需要項目別実質GDP成長率

	2013年	2014年	2014年				2015年
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	3.2	2.8	4.3	1.6	1.9	3.4	2.3
民間最終消費支出	3.3	4.1	3.4	3.4	3.4	5.9	5.2
政府最終消費支出	3.5	4.2	4.0	2.2	6.1	4.4	4.2
国内総固定資本形成	1.1	△2.8	1.5	△4.9	△4.8	△3.0	△4.5
財貨・サービスの輸出	1.5	1.1	5.8	△3.9	5.0	△1.4	△3.2
財貨・サービスの輸入	△0.1	2.4	3.2	0.6	3.3	2.5	3.6

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕イスラエル中央統計局（CBS）

ベンチャー企業は米国のNASDAQ市場に上場している企業が多く、また、第三国企業がイスラエル企業の株式を保有している場合もある。このため、イスラエルの証券市場を通さずに直接投資が実行される場合があることに注意が必要である。2014年は、中国からの直接投資が目立ち、大型案件では、5月にイスラエル最大の食品メーカー、テヌーバ（Tnuva）の株式56%を中国の大手食品メーカー光明食品が取得すると発表した。また、イノベーション技術を求めた中国企業の動きも活発になっている。自社向け製品・技術開発の促進を目的としてハイアールが、1月にイノベーションセンターを開設したほか、「アリババ」や「百度」によるICTベンチャー企業やファンドへの投資が相次いでいる。

FTA交渉については、1月にカナダとFTA協定の拡大見直しについて交渉を開始したほか、5月にパナマとFTA締結に向けて交渉を開始した。

■日本車が牽引した対日輸入

2014年の対日貿易をイスラエルの通関統計でみると、輸出は前年比8.2%増の7億8,800万ドル、輸入は15.7%増の12億9,400万ドル、貿易赤字幅は前年の3億9,100万ドルから5億700万ドルに拡大した。輸出を牽引したのは、

3割弱を占める光学・医療機器（前年比35.1%増）であった。また、宝石・貴金属を除き主要品目は増大している。輸入は5割強を占める輸送機器（48.4%増）が牽引した。これは日本製の乗用車の国内販売が好調であったことを反映したものとみられる。しかし、その他の主要品目は軒並み前年の水準を下回った。

日本企業によるイスラエル企業とのビジネスや、ベンチャー企業が開発する技術への関心も高まっている中、2014年7月に茂木経産相がイスラエルを訪れ、両国間の産業R&D協力に関する覚書に調印した。

特に注目される分野として、サイバーセキュリティや医療機器、ITソフト、半導体、ヘルスケア関連技術などがある。これらを開発するベンチャー企業の発掘を目的に、イスラエルを訪問する日系企業が増えている。

2014年は、5月にサン電子がプラント施設等の遠隔監視・制御技術を開発するBacsoftの株式を取得し業務提携を推進すると発表した。9月にはSBIグループがイスラエル大手ベンチャーキャピタルのバーテックスベンチャーキャピタルとの戦略的提携を発表、10月には栗田工業が、イスラエルケミカルズの水処理薬品事業、紙プロセス薬品事業、アルミナ化合物事業（APW事業）の買収契約を締結したと発表している。

表2 イスラエルの主要品目別輸出入＜通関ベース＞

(単位：100万ドル、%)

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2013年	2014年				2013年	2014年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
鉱工業製品	61,985	64,121	93.0	3.4	原材料	50,931	50,036	69.2	△1.8
化学製品	11,248	10,976	15.9	△2.4	機械・電子産業向け原材料	9,842	10,058	13.9	2.2
医薬品	6,318	6,485	9.4	2.7	食材	2,367	2,291	3.2	△3.2
石油製品	1,058	780	1.1	△26.3	化学素材	4,642	4,761	6.6	2.6
通信・光学・医療・精密機器・電子部品・コンピューター	12,639	12,550	18.2	△0.7	ゴム・プラスチック	2,410	2,518	3.5	4.5
ゴム・プラスチック製品	1,969	2,086	3.0	6.0	ダイヤモンド（未研磨）	4,485	4,512	6.2	0.6
輸送機器	2,449	2,490	3.6	1.7	ダイヤモンド（研磨済み）	4,529	4,789	6.6	5.7
機械機器・金属加工基礎製品	5,108	5,865	8.5	14.8	燃料	14,560	12,770	17.7	△12.3
ダイヤモンド（研磨済み）	15,713	17,096	24.8	8.8	投資財	9,493	9,693	13.4	2.1
ダイヤモンド（未研磨）	3,305	3,452	5.0	4.5	機械機器	5,726	5,891	8.1	2.9
農産品	1,495	1,392	2.0	△6.9	輸送機器	3,768	3,802	5.3	0.9
					消費財	11,507	12,546	17.3	9.0
					家具・家電製品	2,995	3,061	4.2	2.2
合計（その他含む）	66,788	68,968	100.0	3.3	合計（その他含む）	72,000	72,341	100.0	0.5

〔出所〕イスラエル中央統計局（CBS）

表3 イスラエルの対日主要品目別輸出入＜通関ベース＞

(単位：100万ドル、%)

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2013年	2014年				2013年	2014年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
化学製品	132	138	17.5	4.3	化学製品	114	112	8.7	△1.5
宝石・貴金属	59	47	5.9	△20.6	プラスチック・ゴム	99	98	7.6	△0.8
卑金属	68	82	10.3	20.0	機械・電気機器類	271	224	17.3	△17.3
機械・電気機器類	169	169	21.5	0.2	輸送機器	478	709	54.8	48.4
光学・医療機器	168	227	28.8	35.1	光学・医療機器	70	65	5.0	△7.7
合計（その他含む）	728	788	100.0	8.2	合計（その他含む）	1,119	1,294	100.0	15.7

〔出所〕イスラエル中央統計局（CBS）